

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 1 安全で安心して暮らせるまちに
重 点 的 取 組 1 犯罪や交通事故などが少ないまちをつくる

担当課名	自治振興部 地域政策課		
予算科目	予 算	会 計	01 一般会計
	算 款	02	総務費
	科 項	01	総務管理費
	目 目	08	交通安全対策費

事業名	交通安全対策一般事業	事業開始年度	平成 * 年度
	交通安全に関する啓発指導の実施（啓発活動、指導員の配置）	根拠法令 条例 個別計画等	交通安全対策基本法 第9次廿日市市交通安全計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民 (特に子どもや高齢者)	啓発・指導体制の充実など交通安全対策を強化し、交通事故件数を減らす。 防犯に関する啓発・指導体制の充実などにより、地域の防犯力の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	廿日市警察署、廿日市交通安全協会など	①情報収集活動 ②交通安全教室、サロンでの出前トーク等 ③イベント、広報啓発、青色防犯パトロール

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）	○交通安全教室（出前トーク） ・くらし安全指導員による交通安全教室の開催 市内公立小学校・保育園：35校（園） その他（地域サロン等）：3団体					
	○啓発活動 ・はつかいちさくらまつりでの交通安全ブースの出演 ・交通安全運動期間中の立哨活動と広報活動 ・青色回転灯装備車による市内パトロール ・廿日市警察署や交通安全協会等と連携して、反射材の配布等による街頭啓発					
	○情報収集 ・広島県都市交通安全対策連絡協議会への出席 ・警察等関係機関との情報共有や連絡調整					
	【歳入】 雇用保険料 32,458 円 総務管理費寄附金(交通安全事業) 240,000 円					
	【歳出】 くらし安全指導員(3人) 7,537,977 円 (報酬、共済費、旅費) 事務費 282,152 円 (消耗品費外)					
	項 目	平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
	直接事業費 A	7,777,282	7,820,129			
	財源内訳					
	国庫支出金					
	県支出金					
コスト情報（円）	借入金（市債）					
	その他(使用料など)		272,458			
	市（市税など）	7,777,282	7,547,671			
	人件費(按分) B	0.50 人 4,243,000	0.50 人 4,287,000			
	総事業費(A+B)	12,020,282	12,107,129			
	単位①	人口(4月1日現在)	117,680 人			
	ト換算	市民1人当たり	102			
	②					
到達目標	活動及び成果指標	単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値
	活動	くらし安全指導員による交通安全教室の開催回数 (保・小・中・高校等での開催実績)	回	45	45	38
	成果	交通事故による子どもと高齢者の死傷者数【総合計画指標】 (※広島県警作成資料)	人	112	130	97
						128